

(様式1)

平成30年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 006	提案機関名 三浦市農業協同組合
要望問題名 (仮称) メタン発酵消化液の液肥としての地域利活用について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 国の交付金を受けて平成22年11月に本稼働を開始した三浦バイオマスセンター(事業主体:三浦地域資源ユーズ株式会社)では、し尿、浄化槽汚泥、農作物収穫残さ等を受け入れ、メタン発酵によるバイオガス生産や、公共下水道汚泥処理を加えた再資源化(汚泥発酵肥料の生産)等を行っています。ここで産出される汚泥発酵肥料についてはすでに肥料登録も行い販売(配布)も行われており、市内の農家にも徐々に浸透してきています。 さらに今般、メタン発酵処理後のメタン発酵消化液についても肥料利用を検討し、地域資源循環を促進したいと考えております。メタン発酵消化液の肥料利用として、水田では液状のまま流しこむ施用方法が活用されておりますが、水田がほとんどない三浦半島ではそうした利用は困難であります。 このため、メタン発酵消化液の肥効試験をはじめ、液肥として基本的な部分を分析し、畑に直接散布することによる効率的な利活用方法についての検討をお願いします。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考 「三浦バイオマスセンター」の運営会社である三浦地域資源ユーズ株式会社は、三浦市や三浦商工会議所・三浦市農業協同組合などの出資により設立された第3セクターの地域振興会社です。	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	三浦半島地区事務所 研究課 生産環境部 土壌環境研究課
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 地域内の未利用有機質資源の有効活用技術の開発		
対応の内容等	まず、液肥としての基本的な特性を確認することが重要と考えますので、植害試験等について対応します。		
解決予定年限	<input checked="" type="checkbox"/> ①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			